

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう117

ミヤマホオジロ

分類：スズメ目 ホオジロ科

大きさ：15.5cm

(スズメより少し大)

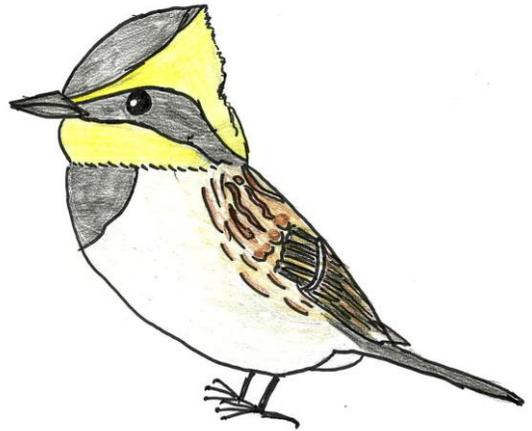
冬になると小鳥の森に姿を現す小さな渡り鳥。
ホオジロの仲間、頭とのどにあるきれいなレモン色の羽毛が目立ちます。サングラスをかけているようにも見えますね。

小鳥の森でよく見られる時期

・10月～3月

小鳥の森で見られる場所

・カワセミの小径の棚田付近



そうま めいさん がかいてくれました。

12月 森のココに注目

冬こそバードウォッチング！

バードウォッチングとは野鳥観察のこと。
そして、一年のうちで最もバードウォッチングに適した季節は「冬」です。

理由その1：木々が葉を落とす冬は、見通しが良くなり野鳥の姿が見やすくなります。

理由その2：真っ赤に色付いた木の実など、私たち人間でも目に付くところに野鳥が集まります。

理由その3：川や池など広く開けた水辺には、カモやハクチョウなど、体が大きくゆったりとした動きの野鳥が集まります。

つまり、他の季節より人と野鳥の距離がぐっと近くなるのです。しっかりと寒さ対策をすれば、冬こそバードウォッチングにもってこいな季節というわけです。



葉を落とした枝



ツルウメモドキの実

冬鳥（冬の渡り鳥）情報

毎年10月になると北の国や高い山から、寒さをしのぐために野鳥がやってきます。彼らを冬鳥と呼んでいます。ところが今年は、なかなか姿を現しませんでした。どうしたのでしょうか？暖かい日が続いていたからかな？

10月後半になり、ようやく少しずつ種類が増えてきました。

小鳥の森で今シーズン初めて確認された日と種類は次の通りです。

<10/ 2>ヒガラ

<10/ 7>マガモ、ヒドリガモ

<10/13>ジョウビタキ

<10/24>ビンズイ

<10/27>アオジ

<10/28>マヒワ、ベニマシコ

<10/29>ルリビタキ、シメ

<10/30>クロジ、キクイタダキ



ジョウビタキ

<11/ 6>ツグミ、ミソサザイ

<11/14>ホシハジロ

<11/16>キンクロハジロ



マヒワ

スタッフだより

天気のことわざ

天気予報がなかったころ、昔の人は自分で天気の移り変わりを知る必要がありました。「天気のことわざ」は住んでいる場所から見える山や雲、風、雨、生き物の変化などを長年経験や観察してできたものと言われており、今でも参考になるものもあります。初雪はいつか、どれくらい積もるかは気になるところ。雪に関わる「天気のことわざ」を調べてみました。

○カモが早く来ると早雪

冬鳥のカモが来たということは寒気も降りてきたという証拠。初雪が早くなることがあるようです。

○高山に早く雪ある年は大雪なし（日本海側）
太平洋側では逆に雪が多くなりやすいそうです。

○そばの豊作は大雪

福島県は全国有数のそばの産地です。白いそばの花が豊作の年はたくさん咲き、雪が積もったように見えるからとも言われています。

「天気のことわざ」当てているでしょうか。

レンジャー・ながとまゆみ

年末・年始のご利用について

12月29日（水）～1月3日（月） 休館いたします

令和3年も残りわずかとなりました。この一年、新型コロナウイルスのまん延防止対応におきまして、大変ご不自由をおかけいたしました。皆さんにご協力をいただいたお陰で、平穩のうちに年越しを迎えることができそうです。改めて御礼申し上げます。

小鳥の森は、2021年12月29日（水）から2022年1月3日（月）まで年末・年始の休館となります。シジュウカラの小径をはじめとする観察路やかんさつ広場などは通常通りご利用いただけますが、野外トイレなどはごさいませんのでご注意ください。

令和4年も引き続き小鳥の森をご利用いただけますよう、スタッフ一同心よりお待ちしております。

皆さま良いお年をお迎えください。

* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2021年12月号No.428／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま